

交通の発達と三都

今日の問い

交通が発達した江戸時代、三都はどのような役割を持っただろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 交通はどのように発達したか。

五街道と海の道

江戸を起点に ¹ 五街道 が整えられ、街道には人や馬を乗りつぐ ² 宿場 が置かれた。要所の ³ 関所 では、通る人や荷物が取り調べられた。重い荷物は船で運ばれ、東北地方などの米は西廻り航路や東廻り航路で大阪や江戸へ送られた。大阪と江戸の間には ⁴ 菱垣廻船 や樽廻船が行き来した。

2 三都はどのような役割を持ったか。

おひざもと・天下の台所

江戸は「将軍のおひざもと」と呼ばれた政治の中心だった。大阪は全国の物資が集まる商業の中心で ⁵ 天下の台所 と呼ばれ、諸藩は ⁶ 蔵屋敷 を置いて年貢米を売った。商人は同業者で ⁷ 株仲間 をつくり、営業を独占した。金・銀・銭の交換や貸し付けを行う ⁸ 両替商 も力を持った。

年表 — この単元のできごと

1601

徳川家康が東海道に宿場を定める

17世紀後半

西廻り航路・東廻り航路が整えられる

まとめ

今日の問いに答えよう。「五街道」「天下の台所」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)江戸を起点に五街道が整えられ、海の航路とあわせて人や物資の行き来がさかんになった。三都のうち、江戸は政治の中心、大阪は天下の台所とよばれる商業の中心、京都は朝廷がある文化の中心だった。

☐ 五街道と海の航路がわかる

☐ 三都の役割を説明できる

☐ 株仲間と両替商がわかる

できた

/ 8



chiritsumo-drill.com
ほかのプリントは [こちら](#)



ちりつもドリル

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

1 / 1

G12-REKI-SANTO-NOTE-01-A